

二木愛花 あけわ 新聞記者。文久元年四月五日上總國生れ、昭和八年二月六日歿（二六二—一九三）。本名貞一。筆名二木愛花仙史、二木愛花情仙、仙史、愛花仙史、愛花子、愛花居士、愛花情仙、愛花情史、愛花狂仙、愛花醉史、有髮僧愛花居士、杵仙、杵屋仙史、杵屋情仙、浮舟、紅夢閣主、蝶生、香夢、香夢樓主人等。明治十二年上京、田中從吾軒の塾に入り漢學を修むる。『東京新誌』記者、『吾妻新誌』主筆、次々『朝野新聞』等の記者を経て新聞『寸鐵』を創刊。のち朝報社に入り社主、大正十一年退社。

著書『東都仙河綺話』（愛花情仙名、顧柳散史評、明治十五年十一月）
五月自板、開新社書房・九春社、春陽堂・ウチダ屋誠發賣、『狂歌』又幼學使覽、一名投書

家錦囊』全二冊（同、眠柳散史共著、明治十六年一月春陽堂）、『情天比翼緣』（愛花情史名、明治十七年二月自版、九春社）、『仙洞美

人譚』（愛花居士名、明治十七年十一月九春社）、『芳春佳話百花魁』（涼著、中村柳塘繪述、明治二十年二月共隆社）、中村柳塘纂譯『才子

遇之夢』（愛花仙史名、題評、明治二十年二月金玉堂）、『百鬼夜行』社會假粧舞』（明治二十年十一月共隆社）、高橋五郎英譯、『日本名勝圖解』

・第壹編 (PICTORIAL DESCRIPTIONS OF FAMOUS PLACES OF JAPAN)』
（本名、漢譯、明治二十一年二月五日九春堂）、『古今名家戲文集』（撰

明治二十二年九月十九日博文館「東洋文藝全集」）、『古今狂詩大全』
（編、明治二十二年十月二十一日博文館「東洋文藝全集」）、田中從

吾軒著『詩文談』（詩談）、文談』（本名、筆記、明治二十五年十一月二十日
九春堂）、『東北』、『西館探涼案内』（合著、萬朝報探涼軍記者、片山友彦編、

明治二十四年七月十八日博文館）、『千古風流煬帝艷史』（譯、大正五年

五月十一日(大阪洋行)、「江戸時代の角力」(各日本角力史)(附録
斯文館)

二年五月五日近世日本文化史研究会、文教書院發賣「江戸時代文化史

叢書」(一)等。